



デジタルトランスフォーメーション時代の商業集積とその空間

建築都市工学部
住居・インテリア学科
教授

福山 秀親



研究シーズの紹介

個人が消費活動において電子情報端末（スマートフォンなど）を駆使する現代の商業集積施設の設計手法（設計の進め方）の研究です。

ネットによる消費が拡大する状況においてリアル店舗vsネット店舗、またはそれらの融合という限定された視点ではなく、消費の場における活動とどの活動に因って形成される領域

の分析と考察から生成される「新たな領域と境界」を導くことで情報変革期の商業集積集積を考案していきます。

またこの研究は、消費頻度と消費財の特性から分類された財（最寄り品・買い回り品・専門品）を混在させることで消費を強引に喚起した商業集積施設を再考し、消費者の消費活動と生活様式を再構成することに繋がります。

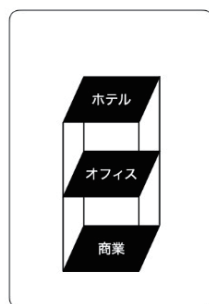


商業集積施設設計

- 情報変革時代における商業集積施設の設計手法への活用が可能です。

産業資本主義社会の商業集積施設の特徴

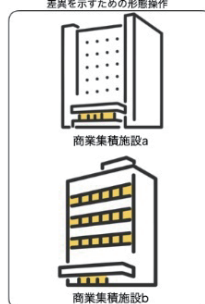
<1>空間構造が画一的



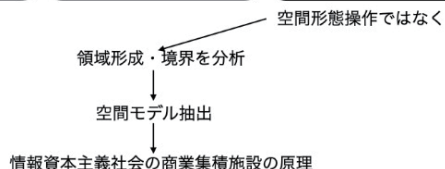
<2>消費行動に対する情報提供の均質化



<3>表層の空間形態のみ差異を示すための形態操作



研究方法



期待される活用シーン

- 商業集積施設開発者

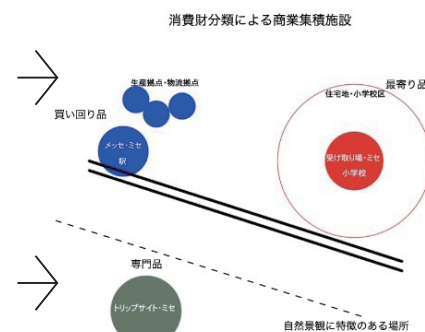


既存の商業集積とは異なる設計手法の開発

- 「まちづくり」などに関与している行政執行者



既存の「まちづくり」とはことなる設計・運営手法の開発



その他の研究テーマ

・ 建築空間・商業施設空間の領域（社会環境領域・自然環境領域）に関する研究